



JQA



JCSS
JCSS 0029

総数2頁の1頁
証明書番号 1202-00717-1

校正証明書

依頼者	青森県立中央病院
住所	青森県青森市東造道2-1-1
品名	デジタル温度計
型式又は性能	本体：RTR-502B センサ：TR-5106
製造番号	本体：5282437C センサ：-----
管理番号	本体：----- センサ：5282437C
製造者	株式会社ティアンドデイ
校正項目	温度
校正方法	JQA校正要領書による（文書番号E3146B2）
校正室の環境	次頁以降のとおり
校正年月日	2022年5月20日
校正実施場所	東京都八王子市南大沢四丁目4番地4 一般財団法人 日本品質保証機構 計量計測センター 熱学計測課校正室

校正結果は次頁以降のとおりであることを証明します。

2022年5月24日

東京都八王子市南大沢四丁目4番地4
一般財団法人 日本品質保証機構
計量計測センター

所長 佐野 弘明



この証明書は、計量法第144条第1項に基づくものであり、特定標準器(国家標準)にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。
書面による承認なしに、この証明書のカラーコピー及び一部分のみを複製して使用することを禁じます。
当センターは、ISO/IEC 17025:2017に基づく校正機関として認定されています。

校正結果

温度校正値 (標準の値)	校正品の指示値	拡張不確かさ	備考
2.0	2.2	0.2	
5.0	5.2	0.2	
8.0	8.2	0.2	

校正の不確かさ:

拡張不確かさは、包含係数 $k=2$ から決定したもので、約95%の信頼の水準をもつと推定される区間を定める。

校正条件:

- ・校正は、標準器との比較測定により実施した。
- ・温度校正値（標準の値）とは、校正品が指示すべき値である。
- ・温槽へのセンサの挿入深さは、約 180 mmとした。
- ・温槽へのセンサ挿入は、ガラス製保護管を使用した。
- ・校正に使用した温槽
 - 2℃の温度目盛の校正には、アルコール低温槽を使用した。
 - 5℃～8℃の温度目盛の校正には、恒温水槽を使用した。
- ・校正を実施したときの校正室の環境条件
 - 温度 23℃～25℃
 - 湿度 44%～48%

使用した標準器 (品名)	(製造者)	(型式又は性能)	(製造番号等)
デジタル温度計	ASL / 株式会社 ネットシン	F500-A-2-D / Pt100	017107/04 / NS-16028
デジタル温度計	Anton Paar	MKT50 / Pt100	81779505 / CH1, CH2

特記事項：校正品の受領後、修理及び調整を行わず校正を実施した。

以上